

会 議 録					
行田市教育委員会 平成30年第8回7月定例会					
招集年月日	平成30年7月26日(木)		開会場所	行田市教育委員会 2A会議室	
開閉の時刻 及び宣言者	開会7月26日(木) 午後2時30分 閉会7月26日(木) 午後4時17分		教育長	鈴木 トミ江	
教育長	鈴木 トミ江	教育長職務代理者	岸田 昌久	仮議長	
席次番号	出席の教育長 及び委員氏名	摘 要			
1	鈴木 トミ江				
2	岸田 昌久				
3	鹿山 高彦				
4	増田 雅久				
5	大久保 英子				
議 事 参 与 者			書 記		
学校教育部長	門倉 正明	書記長	諸貫 忠秋		
生涯学習部長	吉田 悦生	書記次長	白井 克典		
学校教育部次長		書記	久積 史明		
兼学校教育課長	荻原 章				
生涯学習部次長兼図書館長					
兼視聴覚ライブラリー館長	福原 智				
生涯学習部次長					
兼ひとつくり支援課長	石川 隆美				
学校教育部副参事	櫻井真佐美				
教育総務課長	諸貫 忠秋				
学校給食センター所長	満井 房子				
スポーツ振興課長	細谷 博之				
文化財保護課長	中島 洋一				
郷土博物館長	吉田 明夫				
生涯学習部副参事	鈴木紀三雄				
教育文化センター所長					
兼中央公民館長	風間 重文				
教育研修センター所長	春田 盛男				
学校教育課主幹	亀山 友宏				

	会議事件名	顛末
<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第47号 行田市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p>	<p>市民憲章唱和</p> <p>教育長 本日は、傍聴人6名である。また、会議日程は議案4件である。日程第4 議案第50号について、教科用図書の採択に係る部分のみ非公開とし、採択に先立つ報告、協議並びにその他の議案は公開することによいか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長 日程に先立ち、6月定例会の会議録について事務局に報告を求める。</p> <p>書記次長 6月定例会、会議録報告</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>学校給食センター所長 本案は、行田市立学校給食センター運営委員会委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱しようとするものである。 職務は、学校給食センターの年間事業計画に関すること、学校給食費に関すること、その他学校給食センター運営上必要と認めることである。 委員定数は10名、委員長は市長、副委員長は教育長とされ、その他の委員について、選出母体から推薦いただいた方々である。新任5名、再任5名となっている。 任期は、平成30年8月1日から平成31年7月31日である。</p> <p>教育長</p>



<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第50号 平成31年度使用小学校 教科用図書及び中学校教科 用図書（特別の教科 道徳） の採択について</p>	<p>鹿山委員 どのようなことを審議する協議会なのか。</p> <p>郷土博物館長 博物館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、博物館 の行う活動に対し、館長に意見を述べるとされ、現在年2回協 議会を開催し、事業計画や事業報告等について審議している。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育長 協議は、教科ごとに進めてよいか。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p> <p>学校教育課長 平成27年3月に学校教育法施行規則の一部改正が行われ、 小・中学校学習指導要領等が一部改正され、道徳の時間を「特 別の教科 道徳」として、小学校においては、平成30年度から、 中学校では平成31年度から新たに教育課程に位置付けること となった。</p> <p>さらに、「平成31年度使用教科書の採択事務処理について」 (平成30年3月30日付け 29初教科第47号 各都道府県 教育委員会教科書関係事務主管課長宛文部科学省初等中等教育 局教科書課長通知)では、小学校用教科書の採択について、平 成30年度においては、「特別の教科 道徳」以外の教科書につ いて新たに採択を行うこととされている。</p> <p>これらに伴い、平成31年度から使用する行田市立小学校用 教科用図書（特別の教科 道徳を除く）と中学校教科用図書「特 別の教科 道徳」の教科用図書について、小学校用教科書目録(平 成31年度使用)、中学校用教科書目録（平成31年度使用）に 掲載された教科用図書のうちから採択を行う必要がある。</p> <p>また、採択の権限は、「地方教育行政の組織及び運営に関する 法律」第21条第6号により、行田市教育委員会が有するため、 議案として提案するものである。</p>
--	--	---

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>教育長 まず、国語について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹 まず、東京書籍については、一教材一領域で学習のねらいを 絞り、身に付けたい力を教材中に示し、巻末「言葉の力のまとめ」 で領域ごとにまとめている。 次に、学校図書については、学校と家庭をつなぐために、巻 末に、この教科書でどのような力を習得させようとしているの かをまとめた保護者向けのページがある。 次に、三省堂については、分冊「学びを広げる」において、 知識や技能を高めたり広げたりできる内容を盛り込んでいる。 次に、教育出版については、色の見え方が一般と異なる人にも 伝わるよう色使いに配慮したカラーユニバーサルデザインを 採用し、より多くの人が興味を持って、かつ見やすいように配 慮して作成している。 次に、光村図書出版については、読み取って書く力が求めら れている中で、読むことで習得した技能を書くことにより活用 できる仕組みになっている。</p> <p>教育長 国語について意見はあるか。</p> <p>鹿山委員 教育出版の「ひろがる言葉」は、「話すこと・聞くこと」 の領域で、子供たちの興味・関心のある内容を題材として取 り上げ、相手意識や目的意識を明らかにして取り組むことが できるようになっていると感じた。 4年生の教科書の中に点字がある。点字を読むのがいかに 難しいかがわかり、体の不自由な方にとって安全で住みやす い環境をつくるためにはどうしたらよいか考える良いきっ かけとなる。 6年生、日野原先生の「いのちの授業」は命の大切さを考 える良い題材である。</p> <p>岸田委員 光村図書出版は、子供たちに触れさせたい内容の題材が豊 富で、読むことで習得した知識・技能を書くことで活用でき</p>
--	--

	<p>るような単元の配列になっていた。</p> <p>5、6年生の教科書が上下1冊となっており、発達段階に合わせたものとなっている。また、他の教科との関連も考慮した内容であると感じた。</p> <p>増田委員</p> <p>高学年用は、上下巻の分冊でなく、合冊で構成されている会社が見られた。中学校での学習とのつながりや年間を通して1冊なので、学習したことを振り返ることができるという工夫がされていると感じた。</p> <p>大久保委員</p> <p>すべての教科書を研究してみると、教科書に使われている挿し絵についても、子供たちが学習を進めるに当たって大きな役割を果たしていることを実感した。</p> <p>本の紹介の写真が出ており、次の読書への興味を持たせている。</p> <p>教育長</p> <p>次に、書写について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>まず、東京書籍については、4段階の学習の手引きを設け、それに沿うことで、基礎・基本、応用、復習、整理の学習が進めやすいようになっている。</p> <p>次に、学校図書については、学習者の立場に立ち、原寸大の手本、疑問や気付きについての表記、イラストを使って鉛筆の動かし方の解説等を示している。</p> <p>次に、三省堂については、毛筆では、穂先の向きや、特に腕の動きのポイントを図に示してあることで、姿勢や筆の動きが具体的に理解できる工夫がある。</p> <p>次に、教育出版については、基礎基本となる「書写用語」を繰り返し掲載し、話し合い活動で生かせるような配慮もされている。</p> <p>次に、光村図書出版については、ねらいに沿って書かれている文字はどれか、理由も併せて考えさせるなど、言語活動の充実を図る内容が随所に盛り込まれている。</p> <p>次に、日本文教出版については、筆運びや穂先の動きにつ</p>
--	--

	<p>いて、特に気を付けさせたい基本の筆使いの写真を拡大して載せている。さらに、日本の伝統的な言葉を多く扱っている。</p> <p>教育長 書写について意見はあるか。</p> <p>岸田委員 書写で子供たちが最初につまずくのは穂先の扱いであり、穂先の扱い方を重視する会社が増えている印象である。 教育出版は、筆の特性を生かした書き方を分かりやすく示すなど工夫されている。 また、埼玉県の国宝の一つである金錯銘鉄剣が資料に取り上げられているのが印象的である。</p> <p>増田委員 字を書くという学習であるため、お手本を含めて、「見やすさ」という観点で検討をすることが大切だと感じた。鉛筆の持ち方という点でも、子供たちが意識して持つことができるように、先生方が指導しやすいよう、工夫されていることを感じた。</p> <p>鹿山委員 光村図書出版は、「理由も合わせて考えよう」などの表記があり、国語との関連を意識し、言語活動の充実を図る内容になっているように感じた。 また、エアメールの書き方、手紙の書き方が充実している。</p> <p>大久保委員 私も手紙の書き方や連絡帳の書き方に注目した。 東京書籍は、習字の導入期である中学年で、「トン」「スー」「ピタッ」などの言葉を使い、筆の動きのリズムが分かりやすいと感じた。 書き順も分かりやすく見やすい。</p> <p>教育長 次に、社会と地図について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p>
--	---

	<p>まず、社会の東京書籍については、社会として、学び方を学ぶための方法が示され、説明する力や論理的にまとめる力を高めるための言語活動が多様に活用されていた。</p> <p>次に、教育出版については、小单元ごとに、導入、ページ、まとめる、を同系色で統一し、番号も大きく表記されている。</p> <p>次に、光村図書出版については、各学年の巻頭に、発達段階に合わせた問題解決的な学習の手順や調べ方、まとめ方、伝え方などの例が示されている。また、導入部に大きな資料を提示し、児童の問題追究の意欲を喚起している。</p> <p>次に、日本文教出版については、各学年に応じた「教科書の使い方」が掲載され、問題解決の流れに沿った各段階のポイントが明示され、児童が主体的に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>次に、地図の東京書籍については、地図の見方などの地図指導が巻頭の「地図帳の使い方」のページにまとめて提示され、段階的に地図指導ができるようになっている。</p> <p>次に、帝国書院については、巻末を見ると最近の「西日本の災害」などの観点から、身近なところの防災関係に関連したものが多く取り上げられている。</p> <p>教育長</p> <p>社会と地図について意見はあるか。</p> <p>増田委員</p> <p>東京書籍は、「学び方コーナー」を設け、説明、論述、まとめ方等の言語活動を多様に例示し、思考力、判断力、表現力が育成できるように配慮されていると感じた。</p> <p>岸田委員</p> <p>私も東京書籍を注目した。学習を進めるにあたって、つかむこと、比べること、まとめることが体系的に整えられている。</p> <p>本市の誇りである金錯銘鉄剣が取り上げられている。平成26年、世界遺産に認定された富岡製糸場が取り扱われており新鮮さを感じた。また、箱根関所は修学旅行で見学する場所であり、子供たちの生活や学習活動ともつながっていると感じた。</p> <p>鹿山委員</p> <p>帝国書院は、全体的な色合いや地形により色の変化が見られるなど読みやすさの工夫が見られる。</p>
--	--

	<p>平野と山地の色分けがはっきりしており、その割合も一目瞭然である。</p> <p>大久保委員</p> <p>どちらの教科書も、今日的な課題である環境問題などについて掲載されていた。</p> <p>帝国書院は、資料がシンプルでとても見やすく、色使いも良く、主要国も大きく取り上げられ、資料として活用しやすいと感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に、算数について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>まず、東京書籍については、問題解決の具体的な授業展開が例示されていたり、思考の手順や観点が示されていたり、児童が自分の言葉で説明する活動を促す等、問題解決的な学習を通して、数学的な思考力・表現力を高められるような配慮がされている。</p> <p>次に、大日本図書については、問題解決的な学習が展開できるよう解決の仕方を複数提示したり、考えの手がかりとなる吹き出しを適宜設けたりして、主体的に学習を進められる構成になっている。</p> <p>次に、学校図書については、巻頭に数学的な考え方を例示する等、系統的に学習を進めるための単元構成に工夫が見られる。</p> <p>次に、教育出版については、作業的・体験的な活動や考えたり説明したりする算数的活動を重視し、児童が主体的な問題解決を通して知識や技能を習得できるように構成されている。</p> <p>次に、新興出版社啓林館については、ノートの作り方、話し合いの仕方等が示され、児童が探求的に活動できるような構成になっている。</p> <p>次に、日本文教出版については、児童自ら算数の学習の仕方を学び、主体的に問題解決的な学習が進められる構成になっている。</p> <p>教育長</p> <p>算数について意見はあるか。</p>
--	---

	<p>大久保委員</p> <p>東京書籍は、子供たちの自然な思考の流れになっていて、学習しやすそうだという印象を受けた。</p> <p>大切なポイントがわかりやすく、「マイノートをつくろう」や数学的な例示も印象的である。</p> <p>鹿山委員</p> <p>東京書籍は、数直線や図なども、見やすく、子供たちが使いやすと感じた。</p> <p>6年生の「ミステリーコース」は子供たちが興味を示す内容となっていると感じた。</p> <p>新興出版社啓林館は、2年生で九九の円盤、4年生で分度器、6年生で円周測定マシンの付録が楽しいと感じた。</p> <p>岸田委員</p> <p>東京書籍は、問題解決学習に配慮されている。算数から数学のステップである中一プロブレムに考慮している。</p> <p>また、新興出版社啓林館についても、数学的な見方や考え方に配慮されている。付録の分度器は、普段は使わないが、角度を理解するために有効である。</p> <p>増田委員</p> <p>算数的活動といわれている「操作活動」が有効に取り上げられている教科書は、子供たちにとっても、教師にとっても学習が進めやすと感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に、理科について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>まず、東京書籍については、目次が領域別に示されている。巻頭で問題解決の流れを示し、理科の学び方のイメージをもてるようにしている</p> <p>次に、大日本図書については、巻頭で学習の仕方を「理科の学び方」で示し、問題解決の流れを確認しながら学習を進めることができるようになっている。</p> <p>次に、学校図書については、巻頭で「科学の芽を育てよう」を提示し、学習の流れを意識させるとともに、前学年までに重</p>
--	---

	<p>点を置いてきた学習の仕方について振り返っている。</p> <p>次に、教育出版については、安全面では、「注意マーク」と「危険マーク」の2種類で注意を促し事故防止に配慮している。</p> <p>次に、新興出版社啓林館については、各学年の巻頭にある「学習の進め方」で、学習の流れを示し、学び方のイメージをしっかりと持てるようにしている。</p> <p>教育長</p> <p>理科について意見はあるか。</p> <p>増田委員</p> <p>どの教科書も子供たちが意欲的に学習を進められるような工夫が見られる。学習内容に関する写真や図を提示して、課題を示し、学習意欲が高まるような配慮がある。</p> <p>岸田委員</p> <p>東京書籍は、写真の資料が大変美しい。理科は実験が重要で、実際に操作して理解が深めるといふのがあるが、事故の心配もある。例えば、アルコールランプの扱いなど、事故を起こしやすい場面が丁寧に説明されている。また、ガスコンロの扱いになじみのない若い先生方にも学習が進めやすいような工夫が見られる。</p> <p>大久保委員</p> <p>実験や観察では、「安全めがね」が使用されている写真や絵が掲載されている。安全面への配慮は、理科の学習を進めていく上ではとても大切であると考えている。</p> <p>東京書籍は、全学年において、ノートの使い方が見やすく分かりやすい。</p> <p>鹿山委員</p> <p>二酸化炭素が増えている原因は化石燃料を燃やしていることが原因と記載する教科書が多い中、教育出版では、人や他の生物は空気中の酸素を取り入れ、二酸化炭素を排出、逆に植物は、日光にあたることにより、二酸化炭素を取り入れ、酸素を排出すると記載されており、酸素と二酸化炭素について考えるきっかけとなっている。</p> <p>大日本図書や学校図書では「注意」、東京書籍や教育出版では</p>
--	---

		<p>「危険」など、注意を促して事故防止や安全への配慮がされていた。</p> <p>教育長 次に、生活について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹 まず、東京書籍については、他教科との関連、幼児教育、社会、理科、総合的な学習の時間との接続に対する配慮がなされている。</p> <p>次に、大日本図書については、「透明シート」「ビンゴカード」「せいかつことば」は児童の興味・関心活動意欲を高めるように工夫されている。</p> <p>次に、学校図書については、学習体験が上げられるように単元の中に「ものしりノート」があり、様々な遊び方や表現方法等が紹介されている。</p> <p>次に、教育出版については、上下巻末に「ぐんぐんポケット」があり、学習や日常生活に必要なことがまとめられている。</p> <p>次に、光村図書出版については、児童の活動意欲に配慮した「ホップ・ステップ・ジャンプ」の3段階の単元構成になっているとともに、季節ごとの動植物や四季の変化を表し、年間を通して自然に対する興味・関心を持たせている。</p> <p>次に、新興出版社啓林館については、基本的な生活習慣を学ばせる欄を設け、健康で安全な生活を営むための基本的な知識等を紹介し、児童が自分自身で気を付けながら習得していくような配慮がされている。</p> <p>次に、日本文教出版については、スタートカリキュラムが7項目掲載され、生活面や安全面等、入学当初の様々な教育活動に活用できるように配慮されている。</p> <p>教育長 生活について意見はあるか。</p> <p>鹿山委員 東京書籍は、児童の思考を促し、気付きの質を高めるための教師の言葉がけや板書など、指導・支援の例が随所に掲載されていると感じた。</p> <p>「おもちゃ図鑑」では、コマやけん玉等、今のデジタル社会</p>
--	--	--

		<p>において懐かしい遊びが掲載されている。</p> <p>増田委員          今は、若い先生も多いため、子供が興味を持つことに加え、教師が指導や支援しやすいという観点で教科書が作られているということも大切だと思う。</p> <p>岸田委員          生活は、教師、児童が共に学ぶ場になる。学校図書では、児童が自分自身で確かめながら活動を振り返ることができるようになっていると感じた。また、様々な遊びや表現方法が紹介され、学習体験が広がるように工夫されていると感じた。          東京書籍のポケット図鑑は、小さいサイズでまとめられており、草花等を観察するのに活用しやすい。</p> <p>大久保委員          東京書籍の切り離して使える「ポケット図鑑」や「便利手帳」は興味深い。          活動については、新興出版社啓林館で工夫が見られた。野外活動が行いやすいよう、「体験ブック」が別冊になっており、生き物や遊び、安全などが記載され、意欲を持って活動できると感じた。</p> <p>教育長          次に、音楽について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹          まず、教育出版については、「音楽づくり」のコーナーでは、児童の思いや意図、創意工夫が生かせるように発達段階に応じた学習の手順、活動例、約束事、ヒント等が具体的に示されている。          次に、教育芸術社については、全学年の総ページ数が同じになっている。挿絵、写真、イラストの数は、発達段階に応じてページ数が設定されていて見やすい。</p> <p>教育長          音楽について意見はあるか。</p>
--	--	--

	<p>大久保委員</p> <p>どちらの教科書も資料や写真、イラストによって歌詞のよさが分かるように工夫されていたり、イメージが持ちやすいような工夫がされていたりする。</p> <p>教育芸術社のリズム遊びは工夫されており、ドレミの解説がととも分かりやすい。</p> <p>教育出版の透明シートは子供が興味を持たせやすい。</p> <p>岸田委員</p> <p>教育出版は、学年によって総ページ数に違いがある。たくさん情報を盛り込んでいるためだと思われる。</p> <p>教育芸術社は、授業時数、授業時間に配慮して設定されていて全学年で総ページ数が統一されている。</p> <p>増田委員</p> <p>どちらの教科書も、楽譜や文字の大きさなど、見やすく読みやすく配慮されているのはよいと思う。</p> <p>鹿山委員</p> <p>教育芸術社は、発達段階を踏まえて、我が国の音楽や文化、国際理解、道徳的な観点と関連する教材を配置し、多様な音楽に触れることができるよう工夫を感じた。</p> <p>ただ、曲の感じを音符ではなく絵で表現していることは、曲の感じ方の手助けとなる一方で、曲の感じ方の押し付けとなり子どもたちの自由な発想の妨げにならないかと、意見が分かれるところだと思う。</p> <p>教育長</p> <p>次に、図画工作について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>まず、開隆堂出版については、児童の興味を引く題材名や参考作品からイメージを広げられるような工夫がされている。</p> <p>次に、日本文教出版については、キャラクターの語りかけによって発想を広げたり、鑑賞の視点を示したりする工夫がされている。</p> <p>教育長</p>
--	---

	<p>図画工作について意見はあるか。</p> <p>大久保委員</p> <p>日本文教出版は、子供たちが自由に発想できるような作品がたくさん見られた印象を受けた。</p> <p>また、造形遊びがわかりやすく掲載されている。</p> <p>増田委員</p> <p>どちらの教科書も活動する子供たちが意欲的に取り組めそうな感じがする。楽しい活動ができるような工夫が随所に感じられた。</p> <p>鹿山委員</p> <p>開隆堂出版は、題名が「わくわくするね」「ゆめをひろげて」など各学年によって違い、子供たちの意欲を高める意味からもおもしろいと感じた。</p> <p>巻末の「集めておこう材料は宝物」については、子供たちは楽しいだろうが、保護者の視点では、虫が出たりカビが生えたりと単なるガラクタの山になりはしないかと心配である。</p> <p>岸田委員</p> <p>図画工作を進める上で、学校では振り返る場面を重要に扱っているが、開隆堂出版はそれが設定されている。</p> <p>図画工作は上手、下手など技術は二の次で、どんな子供にも表現する喜びを味わえる学習にしてもらいたいと私は思っている。</p> <p>教育長</p> <p>次に、家庭について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>まず、東京書籍については、問題解決的な学習を繰り返すことで、基礎的・基本的な知識と技能が身に付けられるようになっている。</p> <p>次に、開隆堂出版については、豊富な資料を活用して、家庭での実践につなげられるようになっている。</p> <p>教育長</p> <p>家庭について意見はあるか。</p>
--	---

		<p>岸田委員</p> <p>改めて、家庭は、私たちの家の生活の学習という考えを大切にしたいと考えた。</p> <p>どちらの教科書も環境や防災、安全などについて、家庭に直結している社会的課題の資料提示が印象的である。</p> <p>鹿山委員</p> <p>開隆堂出版は、実習における写真の掲載が、実習を進める上での流れが一目で見て分かりやすくなっている。</p> <p>野菜のゆで方について、水からのもの、お湯からのものの記載が印象的であった。</p> <p>増田委員</p> <p>東京書籍は、「いつも確かめよう」というコーナーを設け、実物大の写真を掲載し、知識や技能が繰り返し確認できるようになっているのはとても便利だと思う。</p> <p>大久保委員</p> <p>右利き、左利きの包丁の持ち方の写真が掲載されていたり、火を使ったりする活動が多いので、理科と同様、どちらの教科書も、安全に配慮した教科書の構成になっている。</p> <p>教育長</p> <p>次に、保健について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>まず、東京書籍については「AED」「熱中症」「自然災害」「犯罪被害」など、今日的な話題に対応した資料を用意し、防災教育や安全教育に関する学習活動を充実させている。</p> <p>次に、大日本図書については、学習課題を通して、実践的に基礎的・基本的な学習内容を理解できる構成になっている。</p> <p>次に、文教社については、学習したことを手がかりにして、ブレインストーミングを活用し、色々な状況で、どのような対処が必要であるかを考えさせる構成になっている。</p> <p>次に、光文書院については、児童が理解しやすいイラストや図表、写真を多用した紙面構成となっている。</p> <p>次に、学研教育みらいについては、学習課題を明示し、日々</p>
--	--	---

	<p>の生活や経験をふり返る活動等を通して、実践的に基礎的・基本的な内容を身に付けられるように工夫されている。</p> <p>教育長 保健について意見はあるか。</p> <p>増田委員 学研教育みらいは、学習内容に応じて栄養教諭や学校医、学校薬剤師からの話や消防団員の話など、その学習内容に関係のある人達からの資料が提示され、子供たちにも分かりやすいのではないかと感じた。</p> <p>大久保委員 教科書の大きさがそれぞれであること、また、東京書籍の直接教科書に書き込めることが印象的だった。</p> <p>岸田委員 私も東京書籍の書き込みの工夫は良いと感じた。授業の導入部分で学習課題を明示し、活動を行うにあたり、分かりやすく理解できるよう工夫されている。 大日本図書や光文書院、文教社については、写真やイラスト図表など資料を数多く掲載しており、子供たちの意欲を喚起させる展開ができるよう工夫されている。</p> <p>鹿山委員 それぞれの教科書が、「熱中症」「AED」「自然災害」「防犯」など今日的な課題に対応した資料を用意し、安全教育、防災教育に関する学習内容を充実させていると感じた。 学研教育みらいは、お薬手帳の使い方が適切に記載されている。東日本大震災の際、手帳を持っているとすぐ薬が手に入ったのに対し、持っていない場合、何の薬か分からなく、手に入れるのに時間を要した。お薬手帳の重要性を子供のときから認識することは大事なことである。</p> <p>教育長 次に、中学校特別の教科 道徳について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p>
--	--

	<p>まず、東京書籍については、「いじめのない世界へ」は、今の課題に沿ったものである。目次を開いたとき、色が変わっているなど、大切にしているポイントが分かる。</p> <p>「学びを振り返ろう」は、切り取り線が付いていて扱いやすいが、担任が道徳の授業を作るという点も大切にしたいので、丁寧すぎるのではないか。</p> <p>「考えてみよう」は、道徳の学習を進めていくうえで、なかなか意見が出せない生徒の実態を考えると工夫されている。また、巻末の心情円なども1つの工夫である。</p> <p>次に、学校図書については、話合いの仕方などについて、初めにおさえておくべきことをしっかりおさえている。資料についてもバランスよく扱われている。ただ、目次では、色々なマークがあり、その必要性が本当にあるのかが疑問である。子供たちがそれぞれの価値を知る必要性があるのかが疑問である。</p> <p>保護者へ対して、この「教科書が目指すこと」というページがあり、保護者を意識した教科書でもある。ただ、内容項目を子供に示した上で、どのように教科書を使って授業を進めていくのかが見えない。</p> <p>題材に書いてある内容項目と、題材の最後に書いてある「みつめよう」があり、この題材に迫るために、また、道徳的価値に迫るために、これらをセットで入れることで、子供たちが道徳的価値を感じることができる工夫がされている。子供たちの成長や変容が感じられることのできる教科書になっている。</p> <p>次に、教育出版については、シンプルに小さくまとまっているのは、余計なものを避けて作られている。資料の最後に「学びの道しるべ」があり、これは発問である。この発問が初めから記されているのがはたしてよいのか疑問を感じる。また、最後に評価をするところがある。例えば「子供の輝き度」については、どのように考えればよいのか。</p> <p>それぞれの題材に対して、導入への発問がある。ある意味での課題解決になるのかわからないが、扱う教師にとってはどうなのか。</p> <p>教材の冒頭に導入を設けて、学習のねらいを明確にしている。「学びの道しるべ」では、3つの問いがある。それに連携させて、「道徳的価値を考えさせよう」では、生徒に考え、深めさせる工夫を図っている。そして、「やってみよう」では、役割演技等の体験を通して、実社会に生かしていこうという構成になっている。</p>
--	---

		<p>次に、光村図書出版については、「学びのテーマ」では、テーマに迫るための考える観点が示されていた。子供たちにとっては、これで考えていけばよいのかという観点が示されている。巻末には「橋の上のおおかみ」という題材があった。これは、小学校でも扱いのある題材である。中学生としてはどのような意見が出るのか興味深い。</p> <p>小学校の題材を、もう一度中学校で扱うのが面白い。例えば、2年生は「泣いた赤鬼」を扱っているが、小学校だと赤鬼と青鬼の2人の心情を考えていくと分からなくなってしまうこともある。中学生としては、2人の心情を巧みに考えていくことができると思うので、面白いと感じた。</p> <p>題材の最後の所に、一連の流れが掲載されている。若い先生方には、授業を行う上での指針となる。</p> <p>次に、日本文教出版については、写真やイラストがきれいである。写真を見れば内容も把握できるほどきれいである。道徳ノートに分冊で作成している点も特徴であると思う。しかし、教師が活用できる手軽さや扱いやすさが考えられる一方、生徒の考えを深めることを阻害してしまう恐れもあるのではないか。ノートに書いたことで、友達の考えと比較し、自分の考えを修正してしまい、本当の自分の考えを逆に伝えられない可能性もある。教師の技量によって、ノートが生きるかどうかというのが決まってくるであろう。これから道徳は、教科書を中心に授業をしていくことになるので、そのあたりの難しさがある。</p> <p>次に、学研教育みらいについては、内容、題材といい、また資料や写真としてもよいと感じるものが多かった。</p> <p>大きめの教科書であるが、文字が大きいわけではなく、また分からない言葉については、しっかり解説も付いており、身近な題材を用いている。</p> <p>タイトルと資料のみと、内容がシンプルである。子供たちが特に先入観を持たないで話の中に入ることができるのではないか。さらに子供たちの問題意識や、作品を読んだときの意識を大切にしている。「クローズアップ」が後ろに付いており、関連情報を取り入れることによって、さらに今後の生き方について考える機会を付け加えていることで役立っている。</p> <p>学研の教科書は大きい。厚さも会社によっては厚いものも少し薄いものもある。中学校での課題は、全ての教科書を持ってくることが負担となっていることである。その視点で考えると道徳は、副読本の時から教室において、学校でいつでも見られ</p>
--	--	---

	<p>るようにしているのです、厚さや重さや大きさなど、特段大丈夫である。中身については、いたってシンプルであった。タイトルがあり、すぐ資料になる。そのタイトルを見て、授業にスムーズに入ることができ、導入としてはよいのではないかと。</p> <p>次に、廣濟堂あかつきについては、分冊については、補充の資料として充実している。しかし、ノートの最後の評価のところでは、5段階で設定されており、例えばどの段階でどのように評価すればよいのか逆に迷う。道徳とは、心に染みて、価値に気付いて、自分が高まって実践していくわけであるが、次の日から実践すればよくできたのかというものではない。したがって、今の段階で、「できた・できなかった」というのを段階評価でどのようにチェックすればよいのか疑問に思った。</p> <p>次に、日本教科書については、タイトルがあり、教材があるというシンプルな作りとなっている。また、イラストも柔らかなタッチのものが多い。</p> <p>各資料を見ると、文章の上と下にラインが引いてあるだけでも、読みやすと感じた。タイトルがあり、資料が読みやすくシンプルな作りである。</p> <p>構成として、A B C Dとして掲載されている。順番ではないとは思いますが工夫されている。</p> <p>4つの内容項目は、学習指導要領の観点と合わせて指導できるように工夫されている。</p> <p>教育長 中学校特別の教科 道徳について意見はあるか。</p> <p>岸田委員 これまで、道徳は特別の時間であったが、今回、特別な教科とされた。いじめにより貴重な命が失われることが社会問題となり、それをなくそうという働きかけが教科化につながったものとする。</p> <p>教科書を選ぶ際、文字通り道徳的な主人公を読んで、その通りに行うのではなく、生徒自ら主人公と悩んだり、失敗したり、道徳的な価値を展開する授業が大切である。</p> <p>学研教育みらいは、生徒自ら課題を発見し、解決する能力を育てることを重視しており、こうするという押し付けもない。教科書も180ページでおさめている。教材の質も高い。</p>
--	---

		<p>鹿山委員</p> <p>学研教育みらいは、スポーツに関する教材、オリンピック・パラリンピックに関する題材を多く取り上げており、生徒の関心を引く教材が多く見られた。</p> <p>東京書籍は、「夜は人間以外のものの時間」で、夜は、人間以外のものが分かち合っているため、人間はひっそりと家の中にいなければならないということから、すみわけの大切さ、お互いを尊重することの大切さが示されており、いじめ防止を考えるのに有効である。</p> <p>また、「チョコレートの甘さの裏」では、チョコレートを安く食べられるのは、サハラ以南のアフリカでは5人に1人が児童労働という背景がある。子供たちが大きくなったらこれらの国の過重労働をさせられている子どもたちに、どんな支援をしてあげられるか考えるきっかけになって欲しいと感じた。</p> <p>大久保委員</p> <p>東京書籍は、ホワイトボードの付録が良い。また、漫画を利用した導入や役割演技など、様々な学習方法を提示していた。</p> <p>徒歩の通学で、教科書が重いので、教室に置き、いつでも見られる配慮とあったが、教科書の中には保護者向けの文章もある。学校だけでいじめ問題を考えるものではなく、教科書に命の大切さ、出産のことが掲載されており、保護者にも読んで欲しい。家庭での話し合いができれば、いじめもなくなるのではないか。</p> <p>増田委員</p> <p>どの教科書も、情報モラルやいじめの問題などについて触れていたり、写真やイラストをたくさん使用していたり工夫が数多く見られた。</p> <p>これより非公開とする。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長</p> <p>以上で、本日の日程を終了し、定例会を閉会とする。</p>
--	--	---

そ の 他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項

- 1 次回定例会開催予定日 平成30年8月17日(金) 午後2時00分  
行田市教育委員会 2A会議室

以上、顛末を記載して、その発言内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委 員

委 員